



ヘルスケア計画との連携が期待される市民病院

答 先端医療分野の企業に市民病院が協力できれば、医師にとって研究環境が整った魅力的な病院となる。その上で、実績が蓄積されれば、地域医療拠点と臨床研究拠点の機能を持つ中核医療機関として発展する可能性がある。今後も先進的な病院のあり方と経営改革の研究をしていきたい。

問 ヘルスケア計画のもと、どのように医業収益向上に取り組んでいくのか。

答 先端医療分野の企業との連携等も考え、導入事例が少ない保険外診療の推進を考えている。また、本市に産業の芽のある再生

医療をはじめ、アンチエイジングや美容医療分野等の診療についても導入を研究していきたい。

竹内滋泰（自由クラブ）

広域での有害鳥獣対策を

問 近隣自治体の状況を把握するため、アンケートを取ったところ鹿や猿の被害が出始めていることが分かった。これらが越境して被害をもたらすことも懸念される。本市として、どのように対策を講じていくのか。

答 地域全体を防御するため、県や近隣自治体と連携を図り対策に取り組んでいきたい。

ポートレース蒲郡の新スタンドについて

問 舟券を購入しない人も気軽に入れる施設にするための取り組みは。

答 ギャンブルのイメージから転換するチャンスにとらえ、水面観戦エリア



リニューアルオープンするポートレース蒲郡（イメージ）

のデートスポット化やステージのコンサート利用等、ポートレースファン以外の集客にも取り組んでいく。

牧野泰広（自由クラブ）

空き家等適正管理条例の適用について

問 オレンジロード沿いに火災で焼け残った建物がある。観光交流立市蒲郡の北の玄関口でもあり、早急な対応が望まれる。市の考えはどのようか。

答 火災で亡くなられた方の相続人に同意いただ



平成25年12月開催の名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会

き、空き家等適正管理条例に基づいて緊急安全措置を講じる方向で検討していく。

名鉄西尾・蒲郡線存続のための県補助金は

問 存続は沿線住民だけではなく、蒲郡市全体の問題である。26年度以降の県補助金の見込みは。

答 県は補助金の継続支出は困難との考えを示している。蒲郡市と西尾市では、存続の取り組みを続けており、承知できないという意向を県に伝えた。12月議会後に再度、県知事に要望していく予定である。

稲吉郭哲（自由クラブ）

児童・生徒が通う通学路の安全確保について

問 小中学校へ通う児童・生徒の登下校の安全確保にどのように取り組んでいるのか。

答 各学校のPTAやスクールガード、交通指導員、教員による交通立ち番等の対策を実施している。年度当初には教員が一斉下校の際に危険箇所がないか確認している。危険箇所があれば市・県・蒲郡警察署と連携して対応している。

企業用地開発・企業誘致について

問 企業用地を分譲したら、すぐに売却というのが理想だが、市は最終目標をどのように考えているのか。

答 企業が立地することで税収や雇用を拡大することが最終目標である。また、働きざかりの若い年齢層の方が定住してくれることを最も期待している。